

説明資料— 3

平成22年度
羊蹄山避難小屋整備基本計画検討会

(第2回)

説明資料

羊蹄山避難小屋維持管理体制等の
検討について

平成22年12月17日
北海道地方環境事務所
日本工営株式会社

【羊蹄山の保全管理の現状】

○羊蹄山管理保全連絡協議会の取組み

羊蹄山登山者に対する指導及び羊蹄山管理保全を図るため、**羊蹄山避難小屋に監視員を配置**し、登山者指導、山頂の気象情報の発信、避難・遭難防止機能、及び高山植物盗掘防止等の監視を行っている

○羊蹄山避難小屋維持管理の現状

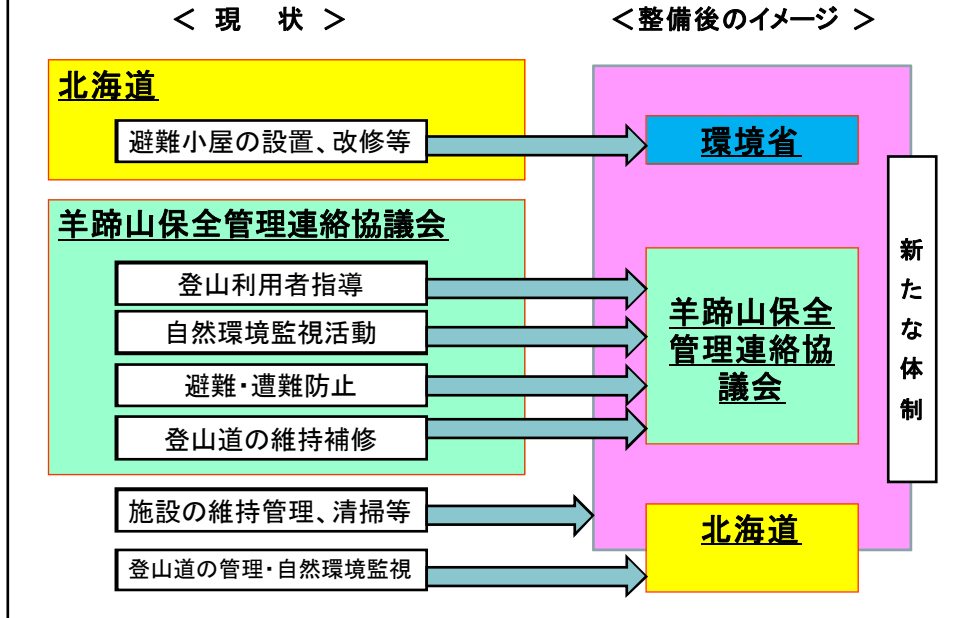
- ・大修繕等については、北海道
- ・通常の清掃・日常点検等は、羊蹄小屋監視員が自主的に実施



環境省による避難小屋整備後の維持管理は・・・

- ・施設の機能の維持に係る部分は環境省
- ・施設の維持管理についての**体制づくりが必要**

【維持管理体制の構築】



【維持管理に係る役割案】

項目	関係機関	環境省	北海道	協議会
◇協議会				
協議会		○	○	◎
定例協議会・情報共有		○	○	◎
◇避難小屋維持管理				
避難小屋の設置(山岳トイレ含む)		◎		
避難小屋の清掃・日常管理(山岳トイレ含む)		△	△	◎
避難小屋・山岳トイレの大規模修繕		◎		
避難小屋・山岳トイレの維持修繕		○		◎
山岳トイレの定期点検・維持管理		○		◎
自然保護監視員の設置			◎	
羊蹄小屋監視員の配置				◎
協力金の徴収・集計・管理		△	△	◎
◇野営指定地の維持管理				
野営指定地の設置			◎	
野営指定地の清掃・維持管理				◎
◇啓発指導・広報周知・ゴミ等の収集および搬出等				
広報用パンフレット・リーフレットの作成等		○		◎
広報活動		○		◎
登山者への指導・登山道の巡視		◎		◎
登山道の維持管理		△	◎	○

◎主担当
○担当
△参画

【避難小屋(山岳トイレ含む)の日常的な維持管理】

【点検すべき項目】

- ・施設の破損・汚損等の確認及び対処
- ・山岳トイレの処理システムは正常稼働確認(オーバーユース等)
- ・害虫の巣等
- ・屋根や雨樋に枯葉等が堆積していないか

【利用支障の可能性を含む項目】

建物本体	①損傷	②雨漏り	③汚れ	④落書き	⑤沈下・歪み	⑥その他
窓・扉	①破損	②開閉不良	③落書き	④汚れ	⑤その他	
便所・便器	①破損	②汚れ	③その他			
し尿処理システム	①破損	②故障	③つまり	④オーバーフロー	⑤悪臭	⑥その他
排水管	①破損	②つまり	③漏水	④その他		
雨水タンク	①破損	②故障	③つまり	④漏水	⑤水不足	⑥その他



施設の維持管理が必要

【山岳トイレのチップ制の導入】

登山道意向調査(H22年度)による意見

- ・チップ制導入は、約9割が賛成
- ・チップ額は、100円程度が5割

【山岳トイレのチップ額の見込み(試算)】

<条件>

1. 宿泊者からは宿泊の協力金を徴収し、改めてトイレ協力金を徴収しないため、宿泊協力金に200円/人(泊)を加算(維持管理費用分)。

●H21実績 = 910人

●宿泊者のトイレ利用推計: 宿泊者2~3回利用(2.5回/人)換算 ⇒ 2,275回 ≒ 2,300回

2. 日帰登山者からは、H21年道庁調べより推計し、トイレ協力金を100円/回と設定。

●H21実績 = 8月: 960回、9月: 659回

●月別想定 ≒ 7月: 8月同等(960回)、6・10月: 9月の1/3(220回)

●H21推計 ≒ 3,019回(220+960+960+695+220)

●日帰登山者のトイレ利用推計: 3,019回-2,275回 ⇒ 744回 ≒ 750回

【協力金見込額】

900人 × 200円/人 + 750回 × 100円/回 ≒ **25万円/年**

維持管理にかかる
費用に充当